

ヤングケアラー・若者ケアラーへの支援



ヤングケアラーとは、慢性的な病気や障がい、精神的な問題を抱える家族の世話をしている18歳未満の子どもや若者のことです。シンポジウムでは、支援の進むイギリスでヤングケアラーたちを1995年からサポートしてきた「ウィンチェスター・ヤングケアラーズ」のスタッフをお招きし、日本の元ヤングケアラーと共に、支援のあり方について考えます。

開催日時：2019年2月17日(日)13:00～(開場12:30) 16:30 終了予定

会場：大学6号館3階301教室
 入場無料 予約不要 定員：250名

プログラム

- 13:00～ 開会、主催者挨拶、イントロダクション
- 13:20～ 日本のヤングケアラー・若者ケアラーの語り
3人の若者ケアラーによる経験談
- 14:00～ イギリスのヤングケアラー支援
 ベン・ホグビン氏 (ウィンチェスター・ヤングケアラーズ代表)
 アリソン・クロス氏
 (ウィンチェスター・ヤングケアラーズ学校支援コーディネーター)
- 15分休憩 —————
- 15:15～16:20 パネル・ディスカッション
- 16:20～ 閉会

進行役：澁谷智子 (成蹊大学文学部現代社会学科准教授、
日本ケアラー連盟ヤングケアラー・プロジェクト メンバー)
 主催：成蹊大学研究ブランディング事業、
 一般社団法人 日本ケアラー連盟 ヤングケアラー・プロジェクト



ベン・ホグビン氏
 2005～2008年までウィンチェスター・ヤングケアラーズの活動支援
 コーディネーターとして勤務。
 2008年よりウィンチェスター・ヤングケアラーズ代表。

「私の役割は、ケアの責任を負っている子どもや若者たち一人ひとりに安全で質の高いサポートを提供するとともに、家族全体のニーズを考えたアプローチを取ることを通して、彼らの生活をより良くしていくことです。」



アリソン・クロス氏
 ウィンチェスター・ヤングケアラーズの学校支援コーディネーターとして、2006年から勤務。

「私の役割は、ウィンチェスター地区の中学校に通うヤングケアラーたちへの理解と支援を広めることです。学校を楽しむためのサポートや勉強面での成果を出すためのサポートを彼らが実感できるよう、学校との良い関係を作り、彼らのニーズを多くの人に理解してもらえるように支援してきました。」

成蹊大学研究ブランディング事業について

成蹊大学では、「地域共生社会」を実現するための学融合プロジェクトを立ち上げ、文部科学省の私立大学研究ブランディング事業に選定されています。このプロジェクトは、大学での研究を地域社会に役立てることを目指しており、理工学部、文学部、法学部が協力し、福祉分野、とりわけ親子支援、高齢者支援、障害者支援の三つのテーマについて、学問分野を超えたコラボレーションを推進しています。



■ アクセス

- JR 中央線・総武線 (東京メトロ東西線)・京王井の頭線 吉祥寺駅下車
 ● 吉祥寺駅北口バスのりば 1、2 番から関東バスで約 5 分 / 成蹊学園前下車
 ● 吉祥寺駅から徒歩 15 分
- 西武新宿線 西武柳沢駅下車
 ● 西武柳沢駅南口から関東バス (吉祥寺駅行き) で約 15 分 / 成蹊学園前下車

お問い合わせ先：成蹊大学 研究助成課 TEL.0422-37-3705
 E-mail rbp-event@jc.seikei.ac.jp